

年 組 名前：

問1

南部町・睦合小児童の登校を

飯野さんと共に見守る犬の犬種を

教えてください。

.....

問2

飯野さんと「モモ」は、いつから、

なにを理由に、見守りを始めましたか。

・いつから

.....

・理由

.....

.....

.....

問3

睦合小の近藤校長は、この活動に

ついて、どのように話していますか。

.....

.....

.....

.....



南部・飯野さんと「モモ」交流楽しむ



校門前で児童を出迎える飯野武人さん(左)とモモ

児童の登校 見守るワン

南部町南部の飯野武人さん(左)と共に出迎える雌の柴犬「モモ」が、南部・睦合小

児童の登校を見守る姿が話題となっている。児童もモモをなでるなどして交流を楽しんでいる。飯野さんは「喜ぶ顔がうれしい。これからも続けていきたい」と話

飯野さんは定年退職を機に、7年ほど前から睦合小の児童の登下校を見守るボランティア活動に参加。3月上旬、モモの飼い主の知人女性が入院したことから散歩を引き受けるようになった。「せっかくだからモモの散歩を兼ねて」と見守り活動に連れていくと、子どもたちが「かわいい」など喜んでくれた。飯野さんは「モモと歩くことも子どもたちとコミュニケーションがとりやすくなる」と笑顔を見せる。今後

も飼い主と相談しながらモモを連れた見守り活動を続ける考えで、「登校時の楽しい瞬間に動物と触れ合う機会にもしてほしい」と話している。

見守り活動に参加する飯野さんとモモ
＝いずれも南部町南部

区の班に付き添い、周囲の安全に気を配りながら登校。到着後は校門でほかの班の児童を出迎えている。2日朝は登校してきた児童がモモをなでたり手を振ったりしていた。近藤晴樹校長は「見守りによる安全確保はもちろん、児童が楽しい気持ちで一日をスタートできてありがたい」と話す。

飯野さんは「モモと歩くことも子どもたちとコミュニケーションがとりやすくなる」と笑顔を見せる。今後

も飼い主と相談しながらモモを連れた見守り活動を続ける考えで、「登校時の楽しい瞬間に動物と触れ合う機会にもしてほしい」と話している。

〈山本就〉

(2023年5月10日付 山梨日日新聞 19面)